



ルール、



お前には  
俺が必要だろ



待ってろ



# 第1話 提案





HS：ワーステリブ国家唯一の兵士養成学校。過酷なカリキュラムにより、死傷者は全生徒の8割にもものぼり、三年間の学生生活を経ての卒業者はわずか。



入学者に選ばれた者に拒否権はない。  
いや、それ以前に入学を拒む者はいない。



よりによってお前が選ばれるなんてな

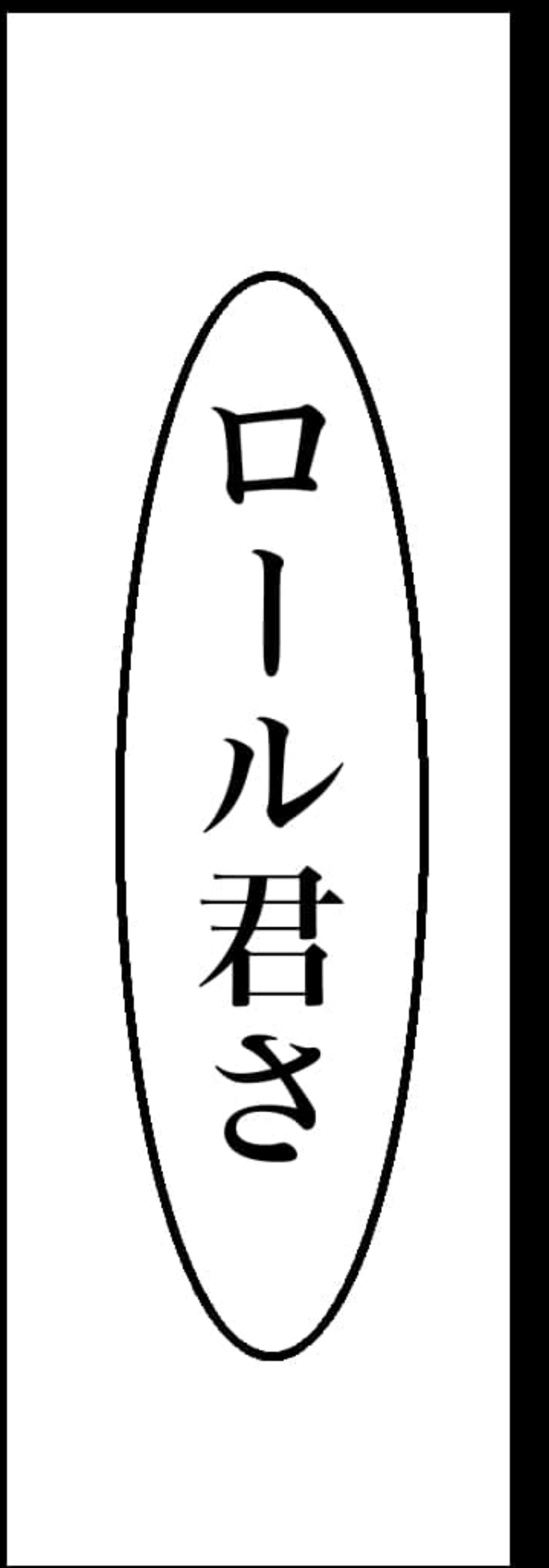
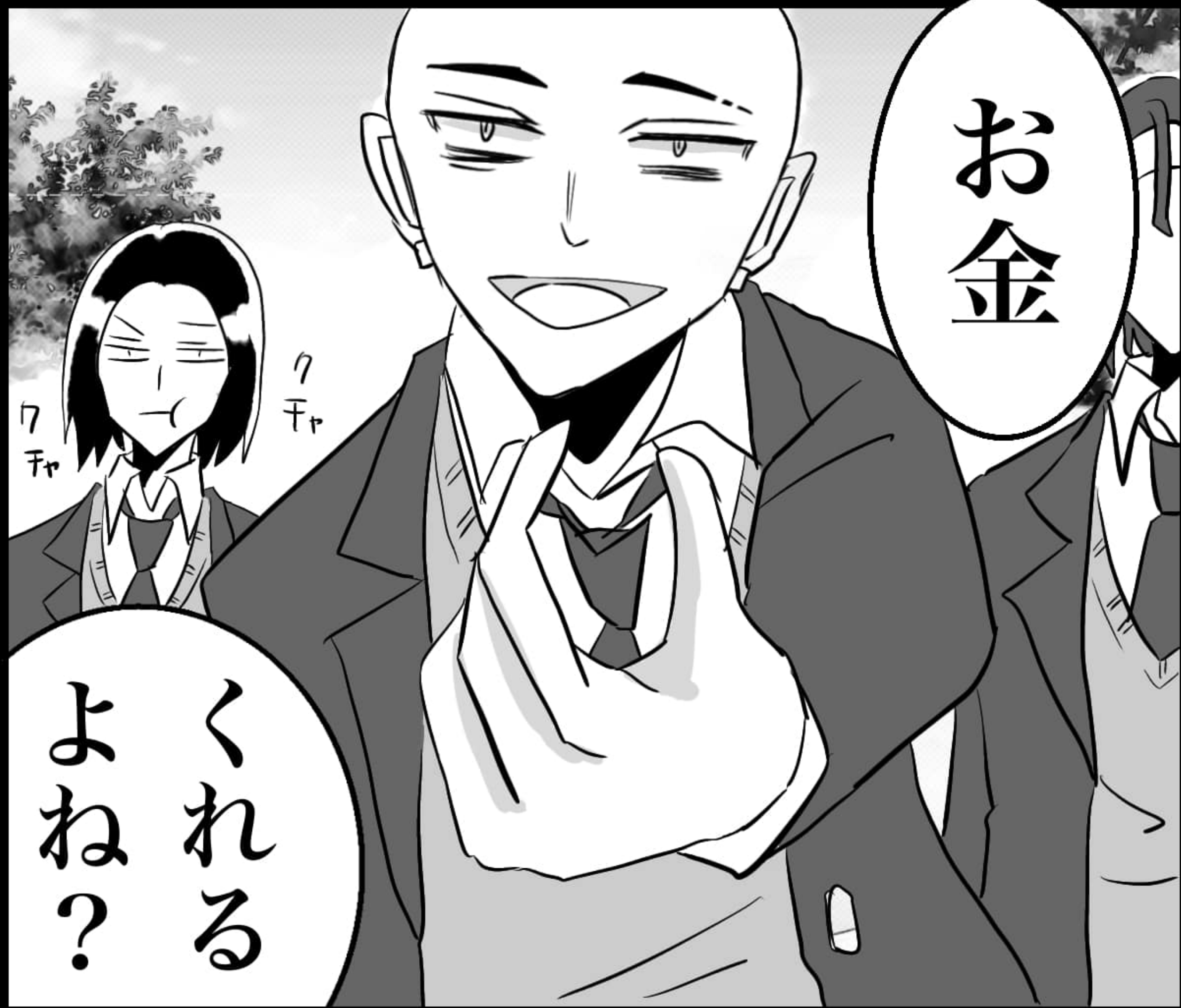
成績が悪くて運動が苦手、

臆病で怖がりなお前が。

俺が選ばれれば良かった

俺が――









あははっ

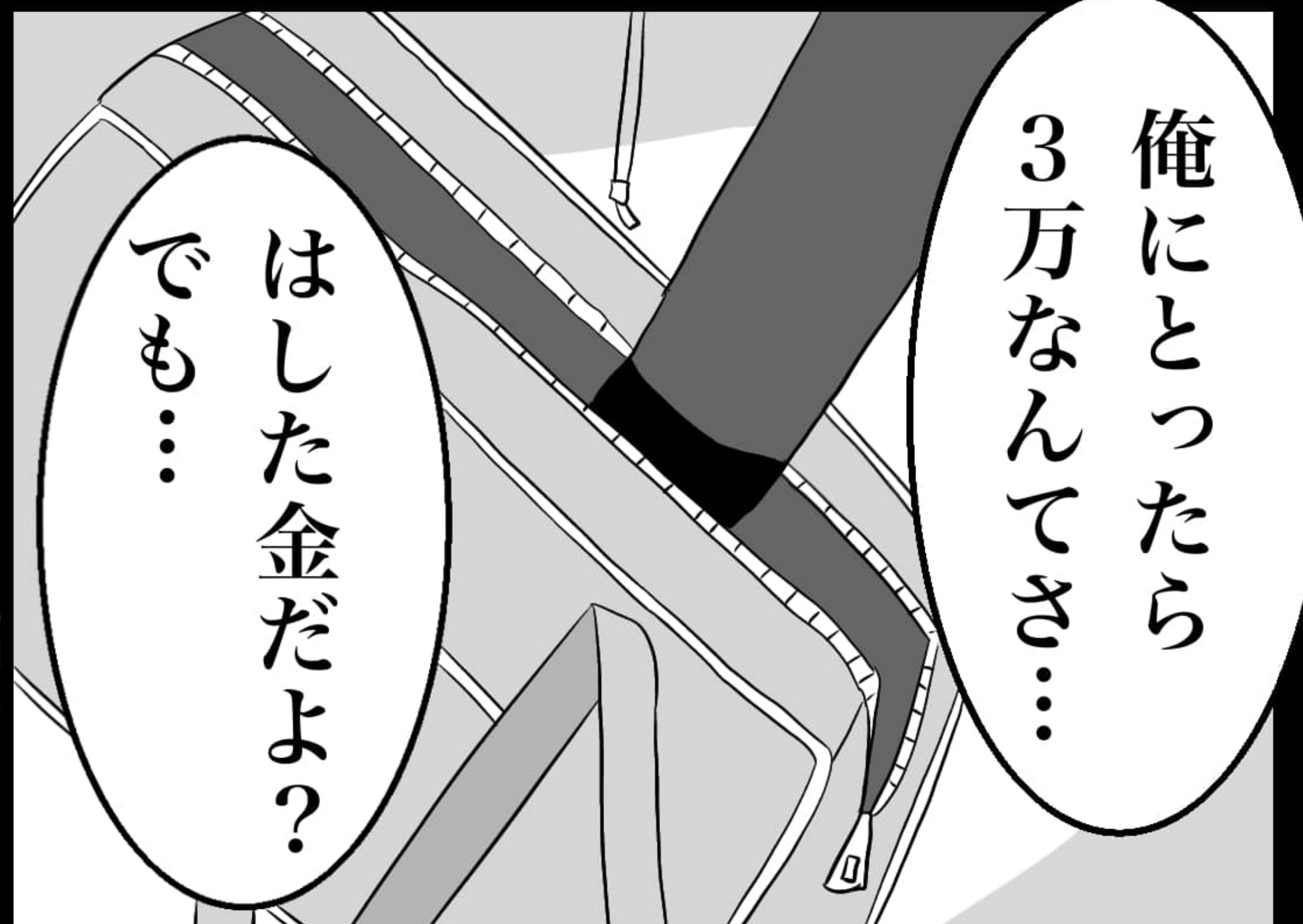


ん？  
どうしたあ



なんでお前らにやんなきゃ  
いけないんだよ

貧乏人が！



俺にとつたら  
3万なんてさ…

はした金だよ？  
でも…



あ？



そつちから金  
出したくなるように  
してやるよ！



お前…ゲロ吐くくらい  
殴られてえの？







ロール、俺がこいつらと話すから行っていいぞ

ええ、ここに  
いるう



そうか、好きにしろ

お前らなんでロールに突っかかってるんだ？

ああ？

お前はそれを邪魔したしなあ！

そいつが金  
寄越さねえからだろ！

それってロールに非はなかないか？

あと俺…

俺の機嫌を損ねたからお前らが悪いんだよ！



まあ？  
今からでも金出す  
ってんなら  
許してやっても  
いいけどな？

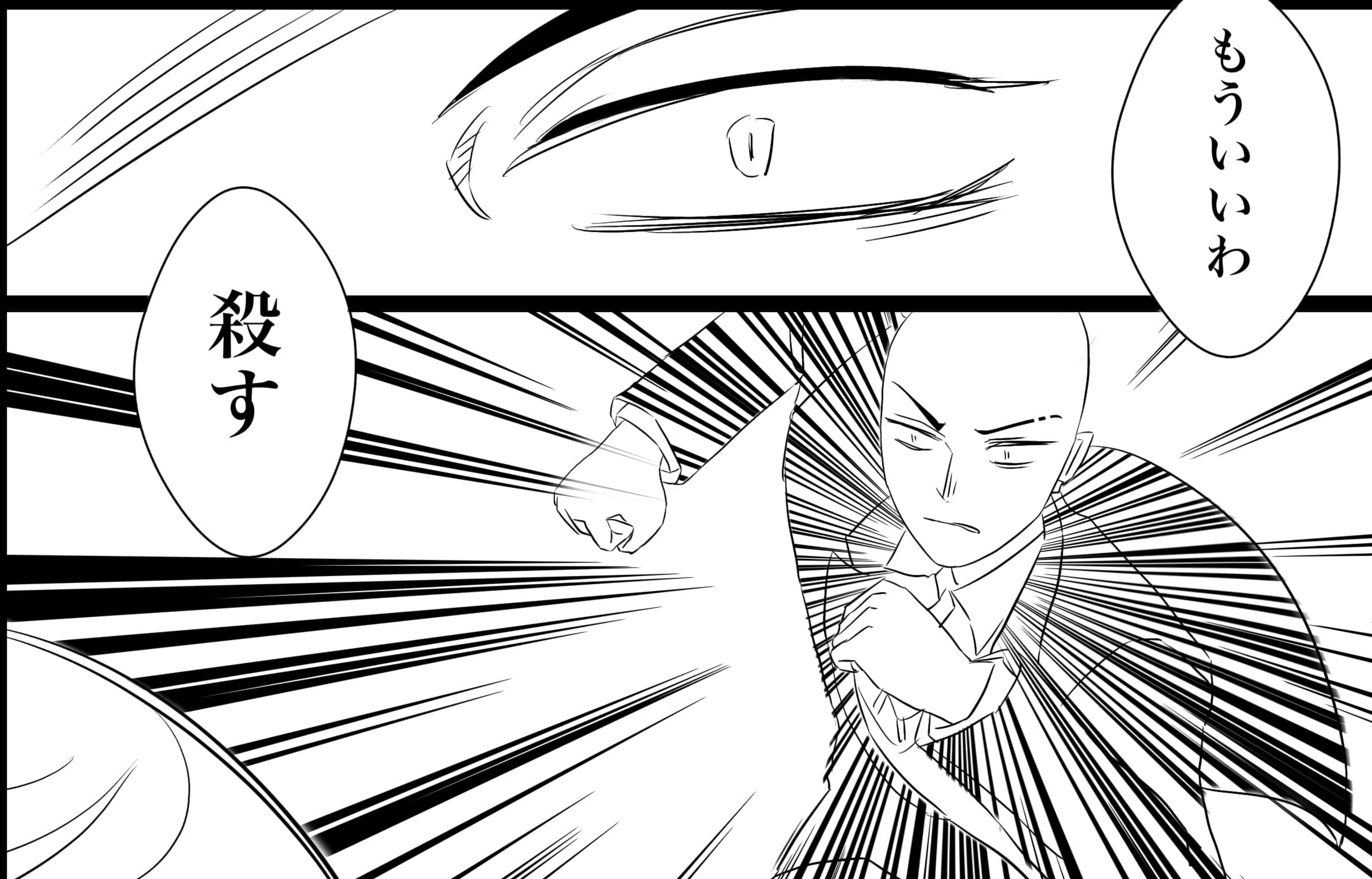
お前らみたいな  
ゴミ虫には  
やんねーよ

べろべろ  
ばあ



もういいわ

殺す







ガシッ☆

ドゴッ☆



おお！



流石  
ミカオだぜ！



ロール：無駄に  
敵を作るな



へへん！

ミカオの目が黒い  
内は俺に手出し  
させないもんね！





平気！

だって俺には  
ミカオが  
いるから！

ロールは  
いつも俺に  
守られて  
いたと思う

一人じゃ  
何も出来ない  
子供みたいなの  
あいつだ。



幽霊を怖がっているとき



勉強するとき

そこそこおさえて  
あげばなんとか  
なまご

……うへ？



事故に遭いそうなとき



いつも俺が助けてた。

歯医者一つ  
駄々をこねて  
行きたがらない  
ような奴だ。





なのになんで

死地には素直に  
出向くんだ

